

第60回 末川杯争奪法律討論会

開催のお知らせ！

末川杯争奪法律討論会とは、立命館大学法友会の主催により開催される大学1・2年生のための法律討論会です。明治大学は毎年立命館大学から招待され、この末川杯に出場しています。

大会の形式は、立命館大学の教授が法律に関する問題を出題し、その問題に対して、出場者(=論者)が自分なりの解答(=立論)を作成、会場においてその論旨を10分以内で発表し(=立論)、その後10分間の質疑応答時間が与えられるので、他の論者やその他の参加学生が、立論に対して質問をするという形式となっており、論旨の内容と質問に対する応答をもとに、審査員の先生方に採点していただきます。

【本選詳細】

- ・ 日程：10月29日(土)
- ・ 会場：立命館大学 衣笠キャンパス
- ・ 分野：刑法

今年度の問題はこちら！

平成23年度 第60回末川杯争奪法律討論会

主催：立命館大学 学術部 法友会

問題

(1) 甲女は好意をもっていたAから性行為を突然迫られたことでショックを受けてふさぎこんでいた。その様子を心配した友人の乙と丙が「どうしたのか」と甲女に尋ねたところ、甲女は「Aにおそわれた」と泣きながら言うばかりで、詳しいことはそれ以上話さなかった。それを聞いた乙と丙は、実際には甲女は強姦されたわけではなかったのだが、強姦されたと誤解した。怒った乙は丙に対し、「1回ぶっとばされないとわからないのかな」といい、丙は「よし、痛めつけてやろう」といった。これらの会話がなされている間、甲女はそばにいて聞いていたが、何も話さなかった。

(2) 乙はAを誘い出すため、甲女にAの携帯に電話して、P駐車場に来るように伝えさせた。乙、丙は甲女とともにP駐車場に向かった。P駐車場において、

乙、丙は現れたAを取り囲み、二人で「自分のやったことがわかっているのか」、「生意気な奴だ！」などと罵声を浴びせ、Aの肩等を小突いたりしていた。それに対し、Aは「おれは悪くない」、「詳しいことは甲女に聞け」などと答えた。それを聞いた乙は、「言い訳ばかりしやがって」と突然、持っていたサバイバルナイフでAの頸部を突き刺した。その後Aは出血性ショックにより死亡した。なお、甲女はP駐車場まで乙、丙に同行し、Aの殺害現場を見ていたが、その間、甲女は何もいわず、見ているだけだった。

甲、乙、丙の罪責を答えなさい(特別法違反の点を除く)。

出題者 立命館大学法学部准教授 嘉門 優

・学内予選開催決定！

明治大学では各討論会において、明治大学の代表論者を決める学内予選を開催しております。これは法学会が主催しているものですが、一、二年生の法学部生であれば誰にでも出場資格があります。この機会に是非出場を検討してみてください。また、論者としてではなくても、質問希望の方や見学希望の方もお気軽に会場へお越しください。

【学内予選詳細】

- ・ 日程：9月24日(土)
- ・ 会場：明治大学駿河台キャンパス リバティータワー ～番教室
- ・ 予選審査員：明治大学法学部教授 中空 壽雅 先生
- ・ 開場：12時30分
- ・ 開会：13時00分
- ・ 討論参加者はスーツ借用

※一般観戦者の方はスーツの着用は問いません。

◎予選への出場希望、討論会についての質問等ありましたら、下記の連絡先までお気軽にご連絡ください。

・明治大学法学会

関東学生法学連盟部

副責任者 赤羽幸司 電話：090-4450-0886

メール：aka_kohji@yahoo.co.jp

※会場は未定なので、決定次第掲載いたします。